

令和4年度 北・北海道中央圏域 定住自立圏共生ビジョン懇談会 次第

日 時 令和5年3月 27 日(月) 午後1時30分～  
場 所 駅前交流プラザよーな 1階大会議室

1 開 会

事務局(土別市 久光副長)

2 名寄市長挨拶

加藤市長より挨拶

3 議 題

(1) 定住自立圏共生ビジョン登載事業の実施状況及び定住自立圏共生ビジョンの変更 **承認**

・主に令和4年度から始まった現行の定住自立圏共生ビジョンの変更案(資料)について事務局より説明

質疑なし

(2) その他

特になし

4 情報提供

(1) 「「地域の未来予測」に基づく広域連携等について」

上川総合振興局地域創生部地域政策課 主査(地域創生) 佐藤 純哉 氏

質疑

・ 委員

インフラの集約には限界があり、人材も不足している。対応していくために必要なことはあるか。また、他の地域の事例はあるか。

⇒佐藤氏

地方であることを魅力の一つとする必要がある。

具体的な事例は持ち合わせていないので、今後の課題とさせていただく。

(2) 「枝幸町ふるさと納税における物流効率化の取り組み」

枝幸町まちづくり推進課 主幹 山上 毅 氏

質疑

・ 委員

寄附金額の値下げはどの程度行ったのか。

⇒山上氏

他の自治体の金額が12,000円から14,000円程度であり、そこに合わせる事ができた。

・ 委員

ストックすることによって品質の低下が気になる。何か工夫はしているのか。

⇒山上氏

真空状態で出荷したり、冷凍にも気を使っている。運送に使う冷凍BOXも-20℃以下を保っており、関東に届いたものはすぐ申し込みがあり、常に出荷されている状況。ホタテの消費期限は2年間だが、1年以内にはすべて出荷される想定でいる。

・ 委員

今回の実証実験の課題として考えられることはあるか。

⇒山上氏

ホタテは6月から収穫しているが、夏場は繁忙期で返礼品の用意が難しい。  
通年で品切れなく受けたいので、夏場の在庫の確保が課題と考えている。

## 5 その他

事務局より

- ・ 今年度の開催は今回のみ
- ・ ご審議いただいた内容を反映した共生ビジョンは後日送付
- ・ 委員報酬については、昨年度と同じ口座に後日振込予定
- ・ 委員の任期が今年度まで

## 6 土別市長挨拶

渡辺市長より挨拶

## 7 閉会